慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	鉄道院編纂 本邦鉄道の社会及経済に及ぼせる影響
Sub Title	
Author	増井, 幸雄
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1916
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.10, No.11 (1916. 11) ,p.1620(142)- 1624(146)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19161101-0142

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

批評と紹介

鐵道院編纂『本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響』

三卷並に附圖、菊版一六九〇頁
東京博文館發賣、定價金拾壹圓

明治四年京濱間の鐵道が開通してより將に半世紀、此の間に於ける本邦鐵道の發達著しきものあり、德川時代と明治時代とを比較すれば鐵道の開通發達を境として本邦交通界は一大革命を來したにも拘はらず、日本の交通發達史を說いた著書は未だ現はれない、鐵道の發達のみを論じたものすら從來世に公にされなかつた。全體、鐵道に關する邦書の總數が十指を屈するに足りないやうな狀態に在る現在に於て特に日本の鐵道に關する著書の出現を望むは或は無理な注文かも知れぬが、それでも一つ位はあつてもよさそうなものだ。唯一つさきに鐵道時報局は『日本の鐵道論』なるものを出版したが之は同社發行の鐵道時報に公にされた論文や演說筆記を纏めたものに過ぎずして何等系統的の著書ではなかつた。かくして本邦經濟學界は當然所有すべかりし共同財產を所有するに至らずして久しく讀書子をして不滿の感に堪えざらしめたのであつたが、茲年七月帝國鐵道院から此の渴望を充すべく一つの共同財產が提供せられた、茲に紹介せむと欲する『本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響』即ち是である。

本書は頁數凡て千六百九十頁、之を上、中、下の三卷に分ち、別に四六版四倍大の百數十葉より成る附圖を添えてある。上卷三章四百三十一頁は本邦鐵道發達史の叙述に充て、中卷七章（第四章乃至第十章）七百七十餘頁は鐵道發達の農工業に及ぼせる影響の記述に充て、下卷八章（第十一章乃至第十八章）四百八十餘頁は之を鐵道發達の消費、商業、交通業並に社會上國際上に及ぼせる影響の論述に充て、章を分つこと十八各章多く之を數節乃至十數節に分ち叙述頗る詳細を極めて居る。今その內容の概目を述ぶれば第一章に於ては鐵道開通前なる德川時代の交通狀態を概說し鐵道開通以後最近（大正二年）に至る迄の官私設鐵道、輕便鐵道等の發展、貨客運輸の發達の跡を述べて居ること百十餘頁、第二章に於ては旅客及小手荷物運輸の如何に發達し改善されしかを運賃低落、速力增加、時間正確、回數增加、設備改善、輸送能力增加等の細目に分つて鐵道開通前と比較して詳述すること二百餘頁。第三章は貨物運輸に就て運賃低落、設備改善、速力及輸送能力增加等の發達を述べて居る（百十餘頁。）第四章は鐵道發達の農業園藝業等に及ぼせる影響をば米、雜穀、茶、野菜、生果、肥料等に就てそれ〴〵生產增加の促進、輸送徑路の變更、生產業分布の變動販路の擴張等を來せることを二百餘頁に亘つて詳述し。第五章は畜產業に及ぼせる影響（二十餘頁）。第六章は水產業（魚類、食鹽）に及ぼせる影響（五十餘頁）。第七章は山林業（木材、木炭）に及ぼせる影響（三十餘頁）第八章は採鑛冶金及採石業（金屬鑛業、石炭、石油、採石）に及ぼせる影響（十餘頁）。第九章は蠶絲業に及ぼせる影響（三十餘頁）を、それ〴〵各種生產業に就て生產消費、販賣、輸送と鐵道との關係を詳述して居る。所謂原始生產業

に及ぼせる影響に就ては右を以て終り次は製造工業に及ぼせる影響の叙述である。即ち第十章は絹糸紡績、綿糸紡績、織物、陶磁器、セメント、硝子、煉瓦及瓦、漆器、製紙、燐寸、畳表類小麥粉、砂糖、和洋酒、醤油の十五種に就て詳述三百餘頁に亘つて居る。第十一章に於ては消費に及ぼせる影響として原料品、生活品の消費、天災不作時に於ける鐵道の活動を述べ（三十餘頁）第十二章は内外商業に及ぼせる影響（五十餘頁）。第十三章は通信事業に及ぼせる影響（二十餘頁）。第十四章は海陸運送業に及ぼせる影響（百二十餘頁）を、而して第十五章は各種營業に及ぼせる影響として交通に關係ある運送取扱業、倉庫業、旅館、各種船車業、遊覽地等の變遷（八十餘頁）を述べて居る。以上は皆是れ經濟上に及ぼせる影響の叙述であつたが、これから以後は社會上國際上に及ぼせる影響に關するもので第十六章には人口分布に及ぼせる影響として商工業、鐵道、人口等の相關關係や都市及接續町村の發展や鐵道沿線地方の盛衰を述べ（五十餘頁）第十七章には文化風俗に及ぼせる影響として教育、風教、民心の發達變動等を說き（五十餘頁）而して第十八章に於ては國際關係に及ぼせる影響として内外人の親交、貨客の國際的運輸四十餘頁を說いて全卷を了つて居る。

以上は本書の内容を極めて雜駁に擧示したに過ぎないが、之を飜讀して見ると其の載する所は概ね統計に基づく事實の叙述であつて統計表が大部分を占め、批評を避けて專ら本邦鐵道の發達並にその各方面に及ぼしたる影響そのものを客觀的に示すに勗めて居る。故に本書の價値は事實を適當に正確に公平に觀察記述してあるや否やによりて定まる譯であるが、その材料は之を『獨り鐵道院内の記錄統計のみに偏倚せず廣く材料蒐集の方針を樹て關係各省、全國各地方廳、其他諸團體に就て統計及事實の調査をなし殊に事實の調査に關しては進んで各地の實況を觀察することを主眼とした』といふことであるから、資料は先づ吾人の期待し得る最も正確にして尤も信憑し得べきものと云つてよからうし、調査の方針亦大體に於て可なりとなしてよからうと思はれる。それ故に吾人は之によりて本邦鐵道の發達の跡や現狀を知り得るは勿論、交通の理論が斯くあるべしと抽象的に敷ふる廉々に就て正確なる實際上の例證を豐富に與へられた譯である。例へば教科書では、鐵道の發達は運輸の安全正確、廉價、愉快、迅速を來し大量輸送を可能ならしめるとか、生産業の發達を刺戟促進するとか、生産業の分布に變動を來すとか、貨物販路の擴張移動を來すとか、人口の地方的移動を來し分布に變動を來さしめるとか、交通系統變更の結果として地方的盛衰を來すとか云ふことを教へて居るが、本書は是等の諸結論が我國に於て如何に實現されたかといふことを具體的に詳細に裏書し說明して居るのである。勿論本書は教科書や實務誌ではないから之によりて鐵道に關する一般的概念を得又は經營の實務に通せんとすることは望み難い所であること云ふ迄もないが、既に教科書によつて交通政策といふ見地よりして一般的概念を得たる者に向つては理論を確むるの材料として有益なることは疑なく、之を理論的の著書と併せ用ふるに於ては交通政策の初學者を初め一般研究者を裨益すること尠なからざるべしと信ずるもの

である。加ふるに各種生産業の分布、生産物の各停車場に於ける發送到着額等を示して居るから經濟地理商業地理の參考書ともなるべく、その沿革をも詳説して居るから宛然一個の明治年間産業發達史とも見らるべく、又風敎。敎育の變遷を叙して居る部分などは通俗の讀物としても强ち不向きではない。若しそれ附圖に至つては本文所載の事實をば一層明瞭に一目の下に了解せしめむがために四六版四倍大の和紙に美麗に色彩刷にした百四十餘枚の圖表より成れるもので單に之のみを見ても頗る啓發する所あるを失はぬと確信する。

要するに本書の如きは之を完成するには多大の勞力と時間と資金とを要すべき大事業であつて到底個人の力によつて出來るものではないにも拘はらず昨大正四年一月に調査を始めて同年九月迄に脱稿し本年七月に至つて斯る有益なる資料を學界に提供するに至つたといふことは、假令政府の力を以てしたとは云へ、頗る驚くべきことゝ云はねばならぬ。本書初めは非賣品として僅かに狹少なる範圍に向つて贈呈分配されたに過ぎなかつたので吾人は頗る之を遺憾のことゝ思つて居つたが、此頃に至つて博文館から發賣することゝなつたといふことで、吾人は斯學界の爲めに一良參考書の普及の途の開かれたことを喜ぶと共に之を江湖に向つて推薦せんと欲するものである。

（增井幸雄）

前號（第十卷第十號）目次（大正五年十月號）

論說

ヴォクトリア並に新西蘭勞働立法の近況（上）　法學博士　堀江歸一
露國及極東露領の關稅政策（中）　慶應義塾大學敎授　堀切善兵衛
所得を中心とする經濟理論の結構（一）　慶應義塾大學敎授　小泉信三

雜錄

佛國戰時の食料問題（三、完）　增井幸雄
國際漁業警察（下）　泉哲
交戰國貨幣低落と其防策（三、完）　三宅嘉十郎
米國經濟學思潮の今昔（上）　高島佐一郎

批評と紹介

美濃部達吉著『日本行政法』第四卷

編輯主任　堀江歸一　高城仙次郎

一冊定價　金二十五錢　郵稅金壹錢五厘
一ヶ年前金　金二圓七十錢　郵稅共

編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
營業に關する用件は發賣元宛
原稿締切期日は發行の前月十日限

大正五年十月廿一日印刷納本
大正五年十一月一日發行　毎月一回一日發行

三田學會雜誌　禁轉載
第十卷第十一號

編輯兼發行者　東京市芝區田町三丁目三番地慶應義塾內　石田新太郎
印刷者　東京市麻布區龍土町七十五番地　金子榮太郎
印刷所　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子活版印刷所

發賣元　東京市麴町區有樂町一丁目一番地　丸山書店
振替貯金口座東京二四一七番
電話本局二二三二番

尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所　東京芝三田慶應義塾內　理財學會